

国際人権大学院大学(夜間)の実現をめざす大阪府民会議 2018年度 プレ講座

社会的に弱い立場にある人や犯罪被害者などのマイノリティに対する誹謗中傷は、近年増加傾向にあります。社会の構造的な問題を個人の自己責任に押し付けようとする風潮、不安を煽るメディア、悪意に限らず善意によってもデマを広げる市民など、様々な要因からフェイク（虚偽）ニュースはインターネット上に拡散され、マイノリティをさらに傷つけることとなります。この連続講座では、ネット社会を生きる私たちの情報リテラシーについて考えます。

◆開催期間 2018年9月5日（水）～11月1日（木）全5回

◆時間 19:00～21:00

◆定員 各回50人程度（先着・定員に達するまで受付）

◆会場 【第1回】HRCビル 5階ホール
大阪市港区波除 4-1-37 TEL06-6581-8691

【第2～5回】大阪市立総合生涯学習センター 5階 第1研修室
大阪市北区梅田 1-2-2-500 大阪駅前第2ビル TEL06-6345-5004

◆受講料 全5回一括受講料 4,000円
各回受講料 1,000円



第1回	9/5 (水)	対在特会ヘイト裁判、人種差別と女性差別との複合差別 講師：李 ^り 信恵 ^{しね} （フリーライター）
第2回	9/19 (水)	バニラエア事件から考える障害者差別 講師：松波 ^{まつなみ} めぐみ（大阪市立大学 非常勤講師）
第3回	10/3 (水)	ドイツの SNS 規制を学び国内の課題を考える 講師：金 ^{きむ} 尚均 ^{さんぎゆん} （龍谷大学法学部 教授）
第4回	10/17 (水)	フェイク（虚偽）からファクト（事実）へ 講師：北口 ^{きたぐち} 末廣 ^{すえひろ} （近畿大学人権問題研究所 主任教授）
第5回	11/1 (木)	令状なしの「GPS 捜査」は違法、最高裁判決 講師：亀石 ^{かめいし} 倫子 ^{みちこ} （大阪弁護士会 弁護士）

